やしお文芸特集

短歌　沖　ななも　選

病得て日毎に痛みの増すうちに
心強きは家人のいる家　佐藤千和

（評）病を得て痛みはあるけれど、心の支えになる家族。作者の年齢がわからないが、夫や子ども、孫だろうか。家族といると、いっとき痛みを忘れることができるのかもしれない。

握る手を握り返せぬ姉の手よ
鍬ダコ今だに残る哀しき　髙谷多門

（評）手を握ってももう反応がない姉。その手には長年勤しんできた労働の印がある。鍬ダコは人生の全てを物語っている。

雨風に打たれし相の並びたる
羅漢の一つに亡父の面影　種村幸子

（評）羅漢とは仏教の修行をしている最高位。たとえば五百羅漢などの中には必ず知り合いに似ている一体がある、などと言われる。思いがけずお父様の面影に出会ってほのぼのとした気持ちになった。

俳句　落合　水尾　選

牛膝（いのこずち）リュック付けて無人駅　藤郷千代子

（評）付着していた牛膝（いのこずち）（草の実）は天からのごほうびのようです。小旅行の楽しさをしっかりと表現しています。

風に乗る囃子の音や川向う　古根昌明
網持つ子得意満面鬼やんま　溝口えいいち
空青し峡の湯宿の秋袷　横山英道
感謝してプラス思考や草紅葉　大山トキ子
身の程の幸せもあり夜の秋　寺井時子
花火あげ夜空にうかぶ幾多人　弓指眞智子
日差し濃く一朶の雲や草紅葉　小林栄子

（総評）爽やかな句をたくさん寄せていただいたことをうれしく思います。生活の身近なところから感動を見い出すことはしあわせなことです。素直な心で少しでも深い表現ができるようつとめましょう。表現の笑顔が大きくひろがることを期待しています。

次回のやしお文芸特集は平成26年5月号に掲載を予定しています。
■応募作品は、選者が添削のうえ掲載する場合があります。
■投稿の決まり■　短歌、俳句（未発表のものに限る）を1人3首まで。住所、氏名、電話番号、年齢を明記し、平成26年3月31日（消印有効）までに、はがきで広聴広報課（☎㈹423）へ（電子メール不可）。※掲載作品には投稿者の氏名を掲載します。また、応募作品は返却しません。

いきいきやしお写真館

団結して競い合いました

10月13日、八潮高校で、「第38回八潮市民体育祭」が開催され、17の町会・自治会を含め、約1,200人が参加しました。
今回の体育祭には、綱引きや新種目として加わった、対決ジャンケンリレー、対抗二人三脚、対抗ホールインワンなどの町会・自治会対抗競技のほか、パクパク競走などの自由参加競技を含め全14種目の競技を行いました。
参加者の真剣な表情の中にも笑顔があふれ、地域交流が深まる体育祭となりました。

笑って学んでサギ撃退

10月8日、八潮メセナで、「消費生活セミナー」が開催され、48人が参加しました。
出前落語人の夢見亭わっぱさんを講師に招き「落語で解説 母さん助けて詐欺ってどんなサギ？」と題して、悪質商法のさまざまな手口と撃退法を落語で紹介しました。
参加者は、詐欺の被害者や加害者の状況を手の動きや顔の表情などで表現する講師に、笑ったり、感心しながら詐欺の傾向や対策を学びました。

若手お笑い芸人をお出迎え

10月14日、埼玉県在住の若手お笑い芸人「がるるまん」の2人が自転車競技イベント「さいたまクリテリウムbyツールドフランス」を周知するため、自転車で市役所に来庁しました。
がるるまんは、出迎えた市長へPRグッズのステッカーやチラシを手渡しました。また、市長は、応援フラッグへ「頑張れ!!がるる」と書き入れ、がるるまんを激励しました。

不用品をリサイクルで資源に

10月6日、リサイクルプラザで、「第24回リサイクルフェア」が開催され、約1,500人の来場者でにぎわいました。
会場では、小・中学生が応募したリサイクル啓発のポスター・標語の表彰式、野菜即売、各種模擬店やガレージセールなどが行われました。
リサイクル品の無料抽選やオークションでは、当選者や落札者が決まるたびに歓声があがっていました。

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、一部のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、12月10日（火）です。